

週間聖書勉強の学び

<コヘレトの言葉について>

林明基牧師

旧約聖書21番目の書「コヘレトの言葉」は「箴言」と「雅歌」の間にあります。それはこの3つの書がイスラエルの第3代の王ソロモンによって書かれているからです。コヘレトの言葉には「エルサレムの王、ダビデの子、コヘレトの言葉。」(1:1)とあり—ソロモンと言う名前はないが—著者がソロモンであることを示しています。そして、「コヘレト」とは「集める者」という意味で、口語訳聖書では「伝道者」(1:1)と訳され、「コヘレトの言葉」も「伝道の書」と訳されていました。

その内容は、「太陽の下」(1:3)ですべての人生は空しい(1:2)。それは不条理などの私たちが理解できないようなことが起こっているから。しかし、すべては「神の御手の中にある。」(9:1)ことを悟り、楽しく生きること(9:9, 11:9)、です。コヘレトはこのように結論付けています。「すべてに耳を傾けて得た結論。『神を畏(おそれ、その戒(いましめ)を守れ。』これこそ、人間のすべて。」(12:13)。すなわち、私たちの人生には空しいことも起きるが、主によって満足し(2:24, 3:12)、希望をもって克服する(7:1-8:13)ことです。

コヘレトは最後までこの世の人生は空しい(12:8)と説いています。確かに、神様との関係が途切れ、死がすべての終わりである人生は空しいものです。しかし、幸いなことに神様は私たち人間に「永遠を思う心」(3:11)を与えられました。神様との関係が回復された人生は幸いです。その人はこの世に思いをおくのではなく、命の主へ希望をおき、

その関係を大切にしながら歩むからです。どうか、どのような状況においても主によって満足し、喜ぶことができる私たちでありますように、お祈りします。

★信徒の皆様、元気にお過ごしでしょうか。

コロナ禍が長引く中で私達は目先の事や今後の事に不安を感じる今日この頃です。

全能の神である御子イエスキリストを信じている私達には希望があります。

コロナ禍で身動きが取れない時こそ、神様からの愛を味わいたいと願います。

主ご自身がこう言われるのです。「わたしは決してあなたを離れず、また、あなたを捨てない。」

そこで、私たちは確信に満ちてこう言います。「主は私の助け手です。私は恐れません。

人間が、私に対して何ができましょう。」—ブル13:5—6 (新改訳)



(匿名)

☆前号のクイズの答え



♡♡今年の世界祈禱日は、関西女性連合会の主催でオンラインで行うこととなりました。

3月5日(金) 1:30~、参加申し込み締め切りは2月21日(主)、教育部・康玲子まで。

♡♡女性会総会は3月14日(主)という予定になりました。そこで教育部だよりも2月まで発行したいと思います。次号の原稿を募集いたします。文字数は自由ですが200~300字を目安に、締め切りは2月17日(水)。よろしくお祈りいたします。(教育部・康玲子)

☆女性会では昨年10月より、韓国語の聖書勉強会を行っています。「おっ? 聖書が読めてくる!」の学び(講師:朴良淑執事ニム / Zoomにて毎週日曜日夕方4:00~5:30)。その参加者からの投稿です。

★어? 성경이 읽어지네! (オ? ソンギョンイルゴジネ! / おっ? 聖書が読めてくる!) という本は10年前から知っていました。韓国にいる弟が聖書を読む時にとても役に立つとすすめてくれたので、日本に持ってきました。でもなかなか聖書を読みながらその本まで(しかも少し厚いです(笑))読む余裕がなかったので聖書だけひたすら読んでいました。

聖書は難しい言葉も多いし、特に、地域・人の名前が難しくよく知らないまま飛ばしたことが結構ありましたが、良い機会ができて 어성경(オ ソンギョン)を使う聖書勉強会に参加することになりました。

어성경の題目通りに本当に聖書がすらすら読めてくるのか正直に半信半疑でした。結論的というと本当に読めるようになりました!!

まず、時代の流れに沿って整理をしてくれるので聖書の中の時間的な順番がわかります。以前聖書で急に全く違う話が出てきて理解出来なかった部分がありましたが、어성경から教えてもらった順番に読むと本当にすらすら読めるようになりました。

そして、地域名の説明が詳しいです。画面でその当時の地図を見ながら説明してくれるのでわかりやすいです。私が持っている聖書にももちろん地図がありますが、やはり画面を見ながら移動経路などの説明を聞くと、とても面白いです。

また、私にとって一番難しかった戦争の話、その背景がわかるようになりました。なので、戦争中でも神様の働きが見えます。

この어성경聖書勉強会を通して聖書をより楽しくより深く読むことができ本当に感謝です。そして一番感謝することは、聖書を毎日読む習慣ができました!

これからもずっと聖書を読むことを休まずに毎日私に話してくださる神様のみことばを通して新たな一日一日を生きていきたいと思ひます。(崔英善)

★主の御名を賛美いたします。

コロナ禍で去年4月から教会にも行けず、家でオンラインで礼拝をささげていました。まだ信仰の独立性がない私にとって、皆様とのまじわり、聖歌隊の奉仕がこんなに大事なことであったことがわかりました。

しかも、神様はオンラインという新しい場を整えてくださいました。こんな形でも礼拝をささげることができることに感謝しています。特に、10月からは女性会主催のオンライン聖書勉強の「おっ? 聖書が読めてくる!」に導いてくださり、信仰と生活が沈滞している私に新しい光を与えてくださいました。

これまで、機械的に創世記から聖書の通読にチャレンジしたことが多かったですが、怠け者のわたしはしべ記のところまで進まなくなることが多かったです。あるいは預言書で止まったり。その背景がわからないから、聖書を体系的に理解できないから、預言書を読んでも、同じことを繰り返して言うようにしか思えませんでした。しかも、滅亡に関する恐ろしい御言葉ばかりが、だから、愛をおっしゃってる新約のほうももっと読みやすく、めぐみを受けていたようです。

しかし、「おっ? 聖書が読めてくる!」では、「神様こそ王である」ことを認識し、守ってほしかった神様のずっと変わらない思いが主題であることと、聖書の最初から最後まで繋いでいる神様の愛と計画があることが理解できたら、聖書ももっと読みやすくなってきました。背景を理解しながら、地図を見ながら、みんな一緒に読んでいきますので、止まることなく、楽しく続けていくこともできました。例えば、預言書には滅亡に関する預言が書いてありますが、その中の神様の愛と、私に

対する期待がわかったとき、読めるようになりました。子供の言語等発達の問題、育児、仕事等々で落ち込んでおり、しかも神様に頼り信じることをさえていませんでした。「おっ? 聖書が読めてくる!」を通じて、神様にもう一度近づき、神様の偉大さ、神様の私に対する愛、私に対する期待を考える時間をもつことができました。教会の皆様との交わりもできました。私の問題はまだ解決されていませんが、聖書の中の神様との出会い、皆様の祈りがあり、怖くないようになりました。このような状況にも、神様の摂理があると信じ、探し始めることができました。時間がないことを言い訳に、先生のスケジュール通りには聖書の読みは進んでいないですが、止めることなく、これからも神様をもっともっと知りたいと思っております。皆様も機会があれば、ぜひ参加してみることをおすすめいたしますよ。

皆様と教会で自由に礼拝をささげ、交わりができる日をお待ちしております。神様にお祈りします。(金英美)

